



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第2回 実施報告

No.2011-02

実施日	2011年7月17日（日曜日）9:30~14:00	天候：快晴	記録：金森
場所	宇津木台緑地（八王子市久保山町2-1）		
参加者	参加者：8名（男性6、女性2） 諸岡、衣川、北澤、林、鈴木（健）、鈴木（響） 後藤、細野 インストラクター：金森		

実施内容

初年度全10回活動の第2回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に9:30に集合（但し、初参加の3名のみ、2回目参加者は10:00集合）木陰が気持ちよいので屋外で次の説明を行う。

- ・会の趣旨／ボランティアの心得／服装、道具／低木の伐採方法…初参加者のみに説明

鋸の貸出し、蚊取り線香を装着し現地に向かう。前回の植生調査地にて刈り残して再び伸びた笹を駆除する、椎茸のホダ木をチェックする。前日、伐り倒して玉切りにしておいた材を運びテーブルと椅子をセットする。（前日、枝が通路にかぶさりあたりを暗くしていた直径40センチのカシを伐倒した）

2班に分かれ以下の作業を約1時間、12:15まで行い昼食（唐揚げなどを現地で調理）にする。

- ・落ち葉や除伐した枝などを溜めておく堆肥スペースを決め、周囲に丸太の柵を打ち込んで作成斜面を利用した5m四方の堆肥場が完成した。早速、除伐した枝などを細かくして積んでゆく
- ・コンクリート広場に面した斜面の除伐（前日、除伐の見本エリアをつくっておいたので参考に）

3名で1時間の作業であったが見違えるほど綺麗になった、ウツギなどの低木も見栄えよく剪定 午後は水辺に移動し水生生物などの有無を確認、残念ながら落葉と泥で埋まっており生物が住める環境ではないことがわかった。唯一、アメンボやクロカワトンボが見られたので水質に問題はない。



植生調査地の刈り残し笹を駆除



休憩用テーブルと椅子をセット



堆肥場の柵づくり



除伐の様子



堆肥場を下から見たところ



除伐によりすっきりした様子



水辺の調査、泥水状態



昼食後の集合写真

連絡事項

・怪我、ヒヤリハットはなし。鋸1本について刃が2箇所欠けた、道具が破損する原因は、使い方・作業方法に問題があり、いずれは大きな怪我に繋がるので、次回、鋸の扱いについて説明する。

・緑地のゴミはボランティア袋に入れ、お墓側の入り口から入ってすぐ右手のオリンパスとの境界柵に置いてあります。数量は1、大きさは大です。